



# YCS【ゆりコミュニティ・スクール】通信

第2号 令和4年10月7日発行

## 第2回学校運営協議会が行われました

9月30日に第2回学校運営協議会が行われ、学校運営協議会委員のほか、教育委員会や保護者、若手の学校職員も参加し、秋田県生涯学習センターの方々の進行のもと「ゆり支援の子どもが学校以外の場所で過ごすために～ゆり支援の子どもたちのために私たちができることは？～」をテーマに、6つのグループに分かれて話し合う熟議を3回行いました。御参加いただきました皆様ありがとうございました。

### 熟議カフェ

※あるグループで話題になった内容です。



### 第1ラウンド ～子どもたちと関わった経験について話そう～

ラウンドワンに行ったら、同世代の子どもと関わりながら一緒に遊んだ。外出の大切さを感じた。



ゆり支援の子どもは、本当に挨拶が気持ちいい。



町内行事と一緒に参加している。



一輪車やスキーマの練習をしたら乗れるようになり、チャレンジする大切さを感じた。



居住地校交流を行い地域の子ともと交流している。

### 第2ラウンド ～学校以外にどんな場があればいいかな？

障害のある子どもと親が集えるカフェ（学校を卒業してからもつながれる場所、隠れ家的な所 など）



親子で楽しめるスポーツチーム（部活以外でもスポーツができる場）

子どもたちにアンケートをとってみたら？本人が選択できるようにしたら？

図書館や公民館、その他の場所でもサポート体制は必要



## 第3ラウンド ～思いを共有し、自分に何ができるか考えよう～

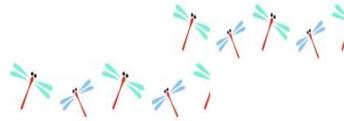
日常を穏やかに過ごせるよう、家族が仲よく生活したい。

福祉事業所間で横のつながりがあればいい。イベント情報を共有し、互いに参加できるなど。



子どもといろいろな所に出掛けたい。

在学中に興味・関心を広げたり、人との関わり、地域との交流を充実させたりしたい。



## 熟議で心に残ったこと

### キーワード編



話をして楽しい、そんな機会をスタートに、地域とつながる土台づくり、場づくりができるといい。そのような活動から生まれたポッチャコートなどもある。

スタート ・みんなと話すの楽しいな ・いっぱい話そう



### 土台

- ・つながり ・集い ・地域とのつながり
- ・地域ぐるみ ・外に出よう ・動く
- ・広がる

### 場

- ・課題 ・安心 ・サポート ・趣味
- ・自立 ・在学中に楽しみを見付ける

### 感想編

※本校職員の感想です。

地域と自分から関わりをもつことの難しさはあるが、集まることのできるコミュニティや余暇活動ができる場があればと感じた。自分では興味・関心を広げたい。

好きなことや好きな人がいれば「周囲と関わっていきいたい」という思いをもつことができるだろう。その自分の思いを発して周囲に分かってもらうことの大切さをあらためて感じた。

送迎や気が引けるなどの理由で関係機関の催し物があっても行けない人がいると分かった。また、親子で参加できる隠れ家的な場所を求めている人もいると知った。保護者も一緒に楽しむなど、自立と社会参加にはそれぞれの形があると気付くきっかけになった。

子どもにも話す場があればいい。何がしたいか言える力を学校で育てられるよう、様々な経験をし、その場で考えることを大切にしたい。